

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

(1) 活動成果 2021年はJLPGA ツアー、ステップアップツアーの計25試合に出場しました。

シーズン通してこれほど多くの試合に出場できることは初めてだったので、オフシーズンではトレーニングの頻度を今までより増やし、体力強化を目標に活動しました。

また、飛距離を伸ばすトレーニングも積極的に行いました。

その結果、オフシーズンのトレーニングのおかげでシーズン中でもパフォーマンスを落とすこと

なく、持てる力を発揮できたと思います。また、前年と比べ飛距離が伸びたことにより、スコアを

伸ばすチャンスが増え、ステップアップツアーでは予選落ちがなく、上位争いの回数も増えました。

ご支援のおかげで充実したトレーニングを行うことができました。ありがとうございました。

(2) 今後の課題

ステップアップツアーでは上位争いをする事ができましたが、JLPGA ツアーでは予選通過はできて

も、上位に食い込むようなプレーをする事ができませんでした。JLPGA ツアーで上位争いを

するためには、体力強化のためのトレーニングを継続して行うのに加え、より精密なショットが

求められると考えます。上位争いをしている選手はチャンスと言われるパー5でバーディを多く獲って

います。そのためには100ヤード以内から打つショットを常に3ヤード以内に寄せられる技術が

必要です。また、ミスそのままスコアに反映させないために、アプローチ、パターといった

ショートゲームの強化をして、より粘り強いプレーをすることが、長いシーズンの中でも安定した

スコアをマークできる条件だと考えます。2022年はステップアップツアー中心のスケジュールに

なりますが、とにかく1勝を目標に、2021年の反省を生かしオフの練習、トレーニングをより

効率よく行って行くつもりです。そして、2022年のQTを通過し、2023年のJLPGA ツアー参戦、

優勝、そして将来的には、世界最高峰のツアーであるUSLPGA ツアーにも参戦したいと思って

います。目標達成に向け1日、1分、1秒を大切に過ごしていきたいです。

II. 支出報告 (使途、教量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費用	金額	摘要
(1) トレーニング費	31万円	トレーナーによるパーソナルトレーニング、コンディショニング
(2) 費		
(3) 費		
(4) 費		
(5) その他		
合計		

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。